宮城県文化財調査報告書第 27 集

東北新幹線関係遺跡分布調査報告書

昭和 47 年 3 月

宮城県教育委員会

序

この調査報告書は，国庫補助金をえて，東北新幹線関係遺跡の分布調査ならびに試掘調査を実施した成果の集録であります。

昭和46年10月，東北新幹線の路線が発表になって以来，短期間に分布調査を実施しましたが，その結果，新幹線ルートを中心とする2㎞幅内に226遺跡，路線敷内には30遺跡を確認いたしました。

昭和47年度からいよいよ新幹線工事が始まりますが，工事に先立ち，この分布調査の結果に基ずいて先人たちの残した貴重な文化財を，詳細に調査する予定であります。

文化財の遺跡は，科学の実験とは異なり，何度も実験できるというものではなく，一度破壊されたり，調査に失敗しますと永久にその価値を失うものであります。そこに文化財の取り扱い方の慎重さ，保護の重要性があるのでありますが，今後とも皆様方の御協力を得て，より適切な文化財行政をすすめてまいりたいと思います。

厳寒のさなか，調査に御尽力をいただきました分布調査員，遺跡調査指導委員ならびに，地元市町村教育委員会に対し，心から感謝の意を表するものであります。

昭和 47 年 3 月

宮城県教育委員会教育長　安　倍　辰　夫

目　　次

東北新幹線関係遺跡の分布調査並びに試掘調査について …… 1
東北新幹線路線内に含まれる遺跡地名表 …… 3
東北新幹線周辺遺跡地名表 …… 12
東北新幹線関係遺跡試掘調査概報 …… 27
東北新幹線関係遺跡分布地図 …… 35

例　　言

1．この地名表は，昭和46年度国庫補助事業で東北新幹線設定路線周辺の遺跡分布調査を実施した成果を整理したものである。

2．記載の順序は，原則として南から一連の番号を付して記入した。

3．収録した遺跡の中には，すでに煙滅したものもあるが，従来の例にならって記録に残すため記載した。

4．遺跡番号は従来の例にならい，市町村別の番号を使用した遺跡基本台帳掲載の番号を付した。

新幹線関係遺跡の分布調査
ならびに試掘調査について

東北新幹線路線の正式発表が行なわれたのは10月中旬のことであった。日本国有鉄道仙台新幹線工事局より，10月14日付で宮城県教育委員会あて，埋蔵文化財包蔵地の分布調査依頼があり，それにもとずいて文化財保護室では，たゞちにかねての計画通り分布調査の具体案を立てその実施を検討した。

ちょうど，10月29日午後1時から上杉分庁舎第5会議室で，東北自動車道遺跡緊急調査対策委員会が開催されたので，関連事項として後半で新幹線関係遺跡調査について各委員の意見をうかがうことにした。時間もないので調査係の案をまず提出し，指導を仰ぐことにしたのである。ところでこの委員会は，これを最後とし，県内のすべての遺跡を含む遺跡調査指導委員会に発展解消することとなった。

11月16日，宮城県蚕糸会館において，関係市町村文化財担当者の出席を求め，協力をいただく分布調査員14名と，分布調査の具体的方法を協議した。その結果は，次のような形で，ただちに分布調査を開始し，1月中旬に完了する予定が決められた。

分布調査員の氏名，担当区域は下記のとおりである。

白石市地区	中橋彰吾・地元郷土史家
大河原町・村田町・柴田町地区	土岐山武・宮城教育大学生
	芳賀寿幸・福島大学生
岩沼市・名取市地区	千葉宗久・宮城教育大学生
	太田昭夫・宮城教育大学生
仙台市・多賀城市・利府町地区	佐藤好一・宮城教育大学生
	遊佐五郎・宮城教育大学生
大和町・大郷町・大衡村地区	恵美昌之・立正大学大学院卒
	高倉敏明・東北学院大学生
三本木町・古川市・田尻町地区	渋谷勝磨・三本木小学校職員
	佐々木氏槙・古川高等学校教諭
高清水町・瀬峯町・築館町地区	佐藤信行・地元郷土史家
志波姫町・若柳町・金成町地区	結城慎一・東北学院大学生
	菅原　了・東北学院大学生

分布調査員による分布調査は，新幹線センターライン中心に左右計2キロ幅を対象としたが，調査員によってはこれをかなり拡大して調査された方もあつた。1月25日白萩荘会議室で，21市町村担当者と分布調査員に出席を求め資料の提出と報告会を開いた。その結果，159遺跡が新し

く発見，台傲に追記されることになった。ところが，新幹線のセンター杭が設定されていなかったので，地図にもとづいて調査をすすめざるをえなかったから，具体的にどの程度の数がライン内に含まれるものかは，不確実であった。

よって，センター杭が設定され始めた1月下旬から，主として新幹線路線敷内を対象とし，文化財保護室調査係職員による遺跡確認調査と，追加調査をたんねんに実施することにした。

新たに発見された遺跡27遺跡，分布調査員の発見した遺跡数に，路線中心に2キロ以内に含まれる登録済みの遺跡を加えると，276遺跡となった。このうち路線2キロ幅以内に含まれるもの216遺跡，11.5メートルの線路内に含まれるものの33遺跡を算する。

ついでこの資料を吟味しながら，あわせて試掘調査の対象となる遺跡の検討をすすめた。試掘調査の基準を，疑わしい遺跡に焦点をあわせ，2月22日より3月中旬にいたるまで，10地点を発掘することにしたのである。その結果，すでに遺跡の破壊されたもの，玉荻台遺跡(2地点)，下佐野遺跡(2地点)，堂の池遺跡(1地点)と3遺跡5地点に及ぶことが明らかになった。

新幹線路線内に含まれ，新年度以降本格的精査を実施するもの30遺跡，センターラインより左右計2キロ内に含まれるもの216遺跡であることが，現在の段階において確認できた次第である。

(志間・氏家)

新 幹 線 関 係 遺 跡 地 名 表

新幹線路線内に含まれる遺跡

遺跡番号	種別	遺跡名	所在地	地目	地図	時期	遺跡概要	調査面積	地図番号
02128	館跡	地蔵院館跡	280.9～281.4 白石市斉川地蔵院館	畑地 田地	桑折	中世	標高100mの丘陵を利用した館。周囲に堀がめぐらされている。試掘調査の結果，空堀ではなく，水をたたえていたものであることが判明した。	12m×120m 測量調査の必要有（館全域）	12
02131	館跡	飯詰館跡	281.8～9 白石市斉川字飯詰	山地	桑折	中世	白石盆地に突出した独立丘陵を利用した館，水田面との比高約40m	12m×170m（トンネル） 測量調査と一部発掘調査の必要有	16
02144	包蔵地	谷津川遺跡	283.9～284.2 白石市大鷹沢三沢川崎	畑地 河床	桑折	古墳 奈良，平安	白石盆地の畑地には，平安時代の土師器片の散布をみる。試掘調査の結果，現地表下1m以下に古墳時代の生活面のあることが推定できた。加えて炭化米が出土する。	11.5m×200m 調査の必要有	29
02145	包蔵地	田中遺跡	283.6～8 白石市大鷹沢字田中	畑地	桑折	古墳 奈良，平安	白石盆地の畑地には，平安時代の土師器片の散布をみる。試掘調査の結果，現地表下1m以下に古墳時代の生活面のあることが推定できた。	11.5m×200m 調査の必要有	30
02158	散布地	内親A遺跡	289.9～290 白石市内親	畑地	白石	奈良，平安	緩傾斜面上の畑に土師器散布。	11.5m×50m 調査の必要有	50
06010	館跡	新開館跡	293.2～5 大河原町新開		白石	中世	二段築成の館跡，水田との比高約40m。	11.5m×300m（トンネル） 測量調査と一部発掘調査の必要有	58
06012	散布地	台の山遺跡	293.8～9 大河原町金ケ瀬新開台の山	畑地	白石	古墳～平安	土師器の分布をみる。（大集落の可能性あり） 石製模造品（有孔円板）も出土。	11.5m×160m 調査の必要有	60
06015	横穴	道上横穴	295 大河原町小山田館前	山林	白石	古墳（後期）	小山田館のある丘陵の南斜面に横穴がある。	横穴数基 調査の必要有	63

遺跡番号	種別	遺跡名	所在地	地目	地図	時期	遺跡概要	調査面積	地図番号
06016	館跡	小山田館	295 大河原町小山田館前	山林	白石	中世	丘陵（水田との比高20m）の頂上。200×80mの規模	13m×100m 測量調査と一部発掘調査の必要有	64
06020	横穴	福田横穴	295.5 大河原町福田	山林	白石	古墳（後期）	傾斜面に開口した横穴7基。他にも埋没されたものの存在が推定できる。	横穴数基 調査の必要有	68
06021	横穴	千塚A横穴	295.9 大河原町千塚	山林	白石	古墳（後期）	傾斜面に横穴5基。他にも埋没しているものが予想される。	横穴1～3基 調査の必要有	69
07028	館跡	玄蕃館跡	296.8～9 村田町沼辺字寄井	宅地 畑	白石	中世	標高80m比高10数m。現在宅地化し原形かなりに損失。周辺畑より土師器片出土。（平安期集落跡の可能性もあり）	13m×180m 測量調査と一部発掘調査の必要有	76
08022	散布地	葉坂A遺跡	301.7 柴田町葉坂	畑	岩沼	平安	山合いの沢のほとりに開けた平坦地の畑。土師器の散布。	12m×80m 調査の必要有	84
12055	集落跡	西野田遺跡	311.8 名取市愛島塩手字西野田	山林 畑	岩沼	平安	野田丘陵の尾根部から南傾斜面にかけて土師器集落跡が推定できる。畑の部分には土師器が分布している。	12m×400m 調査の必要有	111
12062	集落跡	清水遺跡	314.7～9 名取市田高清水	畑	仙台	古墳～平安	名取平野の微高地上の畑に土師器片が，かなり散布している。	11.5m×200m 調査の必要有	127
01026	集落跡	安久東遺跡	316.0 仙台市中田町字安久東	畑	仙台	奈良，平安	同上	11.5m×60m 調査の必要有	132
01029	集落跡	鴻の巣遺跡	331.1～5 仙台市岩切字鴻の巣	畑	仙台	奈良，平安	七北田川の南岸部の畑一面に土師，須恵器の破片が濃厚な分布をみせている。	11.5m×400m 調査の必要有	144

遺跡番号	種・別	遺跡名	所在地	地目	地図	時期	遺跡概要	調査面積	地図番号
22014	包蔵地	八幡崎B遺跡	335.1～3 宮城郡利府町八幡崎	畑	仙台	古墳～平安	砂押川の東岸，標高80mの丘陵一帯に古式土師器，平安期土師器の散布がみられる。	11.5m×180m 調査の必要有	153
22015	散布地	沢乙遺跡	335.5 宮城郡利府町沢乙	畑	仙台	奈良・平安	住宅のある前の畑地。土師，須恵器の破片が散布する。	11 m×25 m 調査の必要有	154
23042	館跡	中楯城跡 （細川館跡）	347.7～9 大和町三ケ内字名子沢，山畑	山林	吉岡	室町～安土桃山	丘陵利用。東西700 m南北250 m，本城中心域の平坦部は40×150 m，東西2つの空堀によって3つの区画をなす。	12 m×200 m 測量調査並びに発掘調査の必要有	165
27019	散布地	留沼遺跡	363.1 古川市大柿留沼46	校庭	古川	古墳	古川第二小学校新築工事中に土師器（引田式）出土，有孔円板出土。現在の校庭にも遺構の存在が推定される。	11.5 m×80 m 調査の必要有	173
38045	横穴	日向前横穴	367.8 田尻町沼木日向前	山林	古川	古墳～平安	丘陵南斜面一帯に横穴12基が開口している。数基の埋没が推定できる。	横穴数基 調査の必要有	178
44014	集落跡	中の茎遺跡	370.1～371.0 高清水町中茎	畑	涌谷	縄文～平安	畑地一面に縄文土器，土師器破片の散布をみる。	11.5 m×300 m 調査の必要有	189
44015	散布地	観音沢遺跡	371.5～7 高清水町観音沢	畑	涌谷	縄文	畑地一面に縄文土器片散布。	11.5 m×100 m 調査の必要有	191
44016	集落跡	東館遺跡	372.4～6 高清水町東館天神裏	畑	涌谷	奈良，平安	高清水台地の東端，畑地一面に土師器破片の散布をみる。	11.5 m×200 m 調査の必要有	193
44019	散布地	下折木遺跡	373.2～3 高清水町陰の沢	畑	涌谷	奈良，平安	新庄館のある丘陵，南傾斜面一帯に土師，須恵器散布，試掘調査では炉跡らしいもの検出。	11.5 m×60 m 調査の必要有	197

遺跡番号	種別	遺跡名	所在地	地目	地図	時期	遺跡概要	調査面積	地図番号
44020	館跡	新庄館跡	374.4 高清水町陰の沢	山林	涌谷	中世	後三年の役に軍功のあった新庄氏の山城と伝えられている。空掘施設あり。	13m×200m 測量調査と一部発掘調査の必要有	198
41029	散布地	八沢遺跡	378.3 築館町字八沢	畑	若柳	奈良，平安	畑地に土師器の散布をみる。すぐ北側に屋敷跡同地名佐藤ふみ，通称〃要害〃の29代目。	11.5m×80m 調査の必要有	207
49007	散布地	熊谷遺跡	383.4～5 志波姫町字熊谷	畑	若柳	縄文	畑地に縄文土器の散布をみる。	11.5m×80m 調査の必要有	212
49008	散布地	大門遺跡	385.3～6 志波姫町北郷字大門	畑	若柳	奈良，平安	畑地に土師器の散布をみる。	11.5m×160m 調査の必要有	214

新幹線路線を中心に幅 2km 内に含まれる遺跡

遺跡番号	種別	遺跡名	所在地	地目	地図	時期	出土品	地図番号
02121	館跡	二段場館跡	白石市越河	山林	桑折	中世		1
02122	〃	鳥沢館跡	〃 鳥沢	〃	〃	〃		2
02019	散布地	五賀西遺跡	〃 越河五賀西囲	畑	〃	縄文（前）	縄文繊維土器片	3
02018	〃	熊谷稲西遺跡	〃 〃 〃	〃	〃	縄文（後）・平安	縄文土器片，須恵器片	4
02017	〃	熊谷前遺跡	〃 〃 〃	〃	〃	縄文（後）・弥生・平安	縄文土器片，弥生土器片，土師器片，須恵器片	5
02123	館跡	八幡台館跡	〃 八幡台	山林	〃	中世		6
02016	散布地	鶴巻田遺跡	〃 五賀台	田	〃	縄文（中）	縄文土器（大木９）	7
02124	館跡	乙森館跡	〃 原	山林	〃	中世		8
02125	〃	馬牛館跡	〃 斎川	〃	〃	〃		9
02126	〃	御所館跡	〃 〃	〃	〃	〃		10
02127	散布地	原遺跡	〃 原	畑	〃	奈良・平安	土師器片	11
02129	〃	弥平田遺跡	〃 斎川鹿の子字弥平田	〃	〃	古墳	須恵器・土師器片	13
02006	古墳	亀田古墳群	〃 〃 字弥平田	山林	〃	〃	円筒埴輪	14
02130	館跡	鹿の子遺跡	〃 〃 鹿の子	〃	〃	中世		15
02132	〃	二条館跡	〃 斎川	〃	〃	〃		17
02133	〃	赤館跡	〃 大平赤館山	山林・畑	〃	〃		18
02134	〃	大平館跡	〃 〃 字大平山	山林	〃	〃		19
02135	散布地	才原遺跡	〃 〃 字才原	畑	〃	奈良・平安	土師器片	20
02136	〃	才ノ入遺跡	〃 〃 坂谷字才ノ入	〃	〃	古墳	須恵器・土師器片	21
02137	〃	久保山沢遺跡	〃 〃 〃 字久保沢山	〃	〃	奈良・平安	土師器片	22
02138	〃	久保沢遺跡	〃 〃 〃 字久保沢	〃	〃	〃	須恵器・土師器片	23
02139	〃	西在家山遺跡	〃 〃 〃 字西在家山	〃	〃	〃	須恵器・土師器片	24
02140	〃	大柳前遺跡	〃 〃 字大柳前	〃	〃	弥生・奈良・平安	弥生土器片，土師器，須恵器片	25
02141	〃	二丈橋遺跡	〃 〃	〃	〃	奈良・平安	須恵器・土師器片	26
02142	館跡	新館跡	〃 新館		〃	中世		27
02143	散布地	江ノ下遺跡	〃 大鷹沢字江ノ下	河床	〃	奈良・平安	須恵器・土師器片，炭化米	28
02146	〃	白石沖遺跡	〃 字白石沖	畑・河床	〃	〃	〃 〃	31

遺跡番号	種別	遺跡名	所在地	地目	地図	時期	出土品	地図番号
02009	散布地	北無双作遺跡	白石市北無双作	畑・水田	桑折	古墳（後）	土師器	32
02008	古墳	銚子が盛古墳	〃 銚子が盛	畑	〃	古墳		33
02147	散布地	宮下遺跡	〃 大鷹沢字宮下	〃	〃	奈良・平安	須恵器・土師器片	34
02148	〃	鷹の巣遺跡	〃 鷹の巣	〃	〃	〃 〃	土師器	35
02149	〃	荒屋敷遺跡	〃 〃 字荒屋敷	〃	〃	〃 〃	須恵器・土師器片	36
02150	〃	田手屋敷遺跡	〃 〃 字田手屋敷	〃	〃	〃 〃	〃 〃	37
02151	館跡	高野館跡	〃 〃 字石神後山	山林	〃	中世		38
02152	散布地	寺入屋敷遺跡	〃 〃 字寺入屋敷	畑	〃	奈良・平安	須恵器・土師器片	39
02153	〃	稲荷山囲遺跡	〃 大鷹沢大町字稲荷山	〃	〃	〃 〃	〃 〃	40
02154	〃	本郷遺跡	〃 堂場前・寺屋敷・大畑	〃	桑折白石	弥生，奈良・平安	〃 〃 ，石包丁	41
02005	古墳	鷹の巣古墳群	〃 鷹の巣字本木山	山林	桑折	古墳	土師器・須恵器・玉類・鉄刀・埴輪	42
02155	散布地	鹿島山遺跡	〃 鹿野	畑	白石	奈良・平安	土師器片，布目瓦片	43
02156	館跡	郡山館跡	〃 郡山字舘山	山林	〃	中世		44
02157	古墳	上蟹沢古墳	〃 飯塚字上蟹沢	〃	〃	古墳	（径15～20m，高さ 1.8～3.0 m）	45
02002	横穴	金倉横穴群	〃 郡山金倉	〃	〃	古墳～奈良		46
02001	〃	郡山蝦夷穴横穴群	〃 〃 字穴前	〃	〃	古墳～奈良	玉類	47
02003	〃	郡山寺入西横穴群	〃 郡山寺入	〃	〃	古墳～奈良		48
02004	〃	郡山寺入東横穴群	〃 〃 〃	〃	〃	〃		49
02159	散布地	内親B遺跡	〃 内親	畑	〃	奈良・平安	土師器片	51
02160	館跡	津田館跡	〃 津田	山林	〃	中世		52
05044	散布地	大久保遺跡	刈田郡蔵王町宮字向山	畑	〃	縄文（中）	縄文土器片	53
050017	〃	臼が久保遺跡	〃 宮字臼が久保入	〃	〃	縄文（前～中）	〃	54
06007	〃	湯の沢遺跡	柴田郡大河原町金が瀬堤湯の沢	〃	〃	奈良・平安	土師器片	55
06008	横穴	青木横穴群	〃 青木	山林	〃	古墳（後）		56
06009	散布地	青木遺跡	〃 〃	畑	〃	縄文	石器	57
06011	〃	新開遺跡	〃 金が瀬新開	〃	〃	古墳～奈良・平安	須恵器・土師器片	59
06013	横穴	薬師横穴群	〃 新寺字薬師	山林	〃	古墳（後）		61
06014	〃	坂下横穴群	〃 小山田坂下	〃	〃	〃		62
06017	散布地	天神堂遺跡	〃 天神堂	畑	〃	古墳～奈良・平安	土師器片	65
06018	〃	山ノ神遺跡	〃 山ノ神	〃	〃	〃	〃	66
06019	〃	牛戸山遺跡	〃 牛戸山	〃	〃	〃	〃	67
06020	横穴	千塚B横穴群	〃 千塚	山林	〃	古墳（後）		70

遺跡番号	種別	遺跡名	所在地	地目	地図	時期	出土品	地図番号
06021	館跡	千塚館跡	柴田郡大河原町千塚	山林	白石	中世		71
07025	散布地	日ノ崎遺跡	〃 村田町沼辺字北日ノ崎	畑	〃	古墳～奈良・平安	土師器片	72
06022	横穴	打越横穴群	〃 大河原町打越	山林	〃	古墳（後）		73
07026	散布地	寄井遺跡	〃 村田町沼辺字寄井	畑	〃	奈良・平安	土師器片	74
07027	横穴	寄井横穴群	〃 〃 〃 〃	山林	〃	古墳（後）		75
07009	散布地	盛田遺跡	〃 〃 〃 盛田	畑	〃	縄文（中～後）	縄文土器（大木9・10，堀ノ内）	77
07008	横穴	中山囲横穴群	〃 〃 〃 中山囲	山林ノ畑	〃	古墳（後）	円頭大刀，金銅製耳飾り	78
07029	散布地	岡A遺跡	〃 〃 〃 岡	畑	〃	弥生，奈良・平安	弥生土器・土師器片	79
07030	〃	岡B遺跡	〃 〃 〃 〃	〃	〃	〃 〃 〃	〃 〃	80
08019	〃	上谷遺跡	〃 柴田町成田字上谷	〃	岩沼	縄文（後～晩）	縄文土器（堀ノ内，加曽利B，大洞BC），石器	81
08020	〃	坂の下遺跡	〃 〃 〃 字坂の下	〃	〃	縄文，奈良・平安	縄文土器・土師器・須恵器片	82
08021	〃	大沢田遺跡	〃 〃 葉坂字大沢田	〃	〃	奈良・平安	須恵器・土師器片	83
08023	〃	寺前遺跡	〃 〃 〃 字寺前	〃	〃	〃 〃	〃 〃	85
08024	〃	愛代遺跡	〃 〃 〃 字愛代	〃	〃	〃 〃	〃 〃	86
08025	〃	薬坂B遺跡	〃 〃 槻木字薬坂	山林・畑	〃	縄文（早～前）	縄文土器片（槻木Ⅱ，上川名）	87
08026	〃	竹内遺跡	〃 〃 入間田竹内	畑	〃	奈良・平安	須恵器・土師器片	88
08027	〃	大窪A遺跡	〃 〃 〃 大窪	〃	〃	縄文，奈良・平安	縄文土器・土師器片	89
08028	〃	大窪B遺跡	〃 〃 〃 〃	〃	〃	〃 〃 〃	〃 〃	90
08029	〃	前原遺跡	〃 〃 〃 字前原	〃	〃	縄文（中）	縄文土器片，石器	91
08030	〃	馬ノ瀬遺跡	〃 〃 〃 字馬ノ瀬	山林	〃	縄文，奈良・平安？	〃 ，ふいご，鉄滓	92
08031	〃	蓑坊遺跡	〃 〃 〃 字	畑	〃	縄文（中）	〃 ，	93
08032	〃	雨乞遺跡	〃 〃 〃 字雨乞	山林	〃	〃（中～後）	〃 （大木10）	94
08033	〃	小和清水遺跡	〃 〃 富沢字小和清水	〃	〃	？	鉄滓，ふいご	95
15024	〃	八森A遺跡	岩沼市志賀字八森	畑	〃	縄文	縄文土器片，石器	96
15025	〃	八森B遺跡	〃 〃 〃	〃	〃	〃	石鏃	97
15026	〃	銅谷A遺跡	〃 〃 字銅谷	田	〃	？	鉄滓，ふいご	98
15027	〃	銅谷B遺跡	〃 〃 〃	〃	〃	縄文（中～後）	縄文土器片	99
12044	〃	東高森遺跡	名取市愛島笠島一の坪東高森	畑	〃	奈良・平安	須恵器片	100
12045	〃	南小袋石遺跡	〃 〃 〃 字南小袋石	〃	〃	弥生，奈良・平安	弥生土器（すり消し縄文），須恵器・土師器片	101
12046	〃	西南沢遺跡	〃 〃 〃 字西南沢	〃	〃	奈良・平安	土師器片	102
12047	〃	東南沢遺跡	〃 〃 〃 字東南沢	〃	〃	縄文（前），奈良・平安	縄文土器（大木3）片，石器，土師器片	103
12048	〃	岩沢遺跡	〃 〃 塩手字岩沢	〃	〃	奈良・平安	土師器片	104

遺跡番号	種別	遺跡名	所在地	地目	地図	時期	出土品	地図番号
12049	散布地	西滝沢遺跡	名取市愛島塩手字西滝沢	畑	岩沼	縄文	縄文土器片，石器	105
12050	〃	北東宮下遺跡	〃 〃 笠島字北東宮下	畑	〃	奈良・平安	土師器	106
12051	古墳	北東宮下古墳	〃 〃 〃 〃	山林	〃	古墳		107
12052	散布地	泉遺跡	〃 〃 〃 字泉	畑	〃	縄文（前），弥生，奈良・平安	縄文土器（大木２）片，弥生土器片，石包丁，須恵器・土師器片	108
12006	寺院跡	笠島廃寺	〃 〃 〃 字西台	〃	〃	奈良	布目瓦（平瓦・有段筒瓦）	109
12053	散布地	北台遺跡	〃 〃 〃 字北台	〃	〃	縄文，奈良・平安	縄文土器片，石器，土師器片	110
12010	古墳	賽ノ窪古墳群	〃 〃 〃	〃	〃	古墳（中～後）	埴輪，土師器	112
12054	散布地	前野田東遺跡	〃 〃 塩手字前野田	〃	〃	弥生，奈良・平安	弥生土器（桜井式），須恵器・土師器片	113
12019	〃	野田山遺跡	〃 〃 〃 字野田山	宅地(湮滅)	〃	弥生	土器片，石包丁	114
12020	貝塚	野田山貝塚	〃 〃 〃 字〃	〃 〃	〃	縄文？		115
12021	古墳	野田崎古墳	〃 〃 〃 字〃	〃 〃	〃	古墳		116
12055	散布地	前野田西遺跡	〃 〃 〃 字前野田	山林(湮滅)	〃	弥生	弥生土器片（桜井式）	117
12036	横穴	北野横穴	〃 〃 〃 北野	山林	仙台	古墳	土師器，須恵器	118
12041	古墳	箕輪Ｂ地区古墳群	〃 高舘川上字南台	〃	岩沼	古墳（中～後）		119
12003	〃	箕輪Ａ地区古墳群	〃 〃 字鴻巣	畑	〃	〃 （中）		120
12004	集落跡	今熊野遺跡	〃 〃 字北台・鴻巣	〃	仙台	縄文（前），弥生，古墳 奈良・平安	縄文土器，石包丁，土師器	121
12056	散布地	八反田遺跡	〃 〃 八反田	田	〃	縄文	打製石器	122
12057	〃	家舘遺跡	〃 〃 字館	畑	〃	？	土師器片	123
12058	〃	北宮神妙遺跡	〃 〃 吉田北宮神妙	〃	〃	奈良・平安	〃	124
12018	〃	八幡遺跡	〃 手倉田字八幡	田・工場	〃	古墳	土師器	125
12059	〃	下田高南遺跡	〃 増田字下田高南	畑	〃	奈良・平安	土師器片	126
12060	〃	西田遺跡	〃 上余田字西田	〃	〃	〃 〃	〃	128
12016	古墳	天神社古墳	〃 〃 字市ノ坪	草地・公園	〃	古墳（中）		129
12017	散布地	上余田遺跡	〃 〃 〃 ・千刈田	畑・水田	〃	古墳，奈良・平安	土師器片，須恵器片	130
01025	〃	栗囲遺跡	仙台市中田町字栗	畑	〃	古墳（後）	土師器・須恵器	131
01003	〃	郡山遺跡	〃 長町郡山字在家浦	〃	〃	奈良・平安	布目瓦	133
01005	包蔵地	西台畑遺跡	〃 〃 字西台畑	工場	〃	弥生，古墳	弥生土器，土師器	134
01014	古墳	兜塚古墳	〃 〃 字木場東	校庭	〃	古墳（中）	埴輪	135
01008	〃	猫塚古墳	〃 南小泉字屋敷	神社	〃	古墳		136
01007	〃	法領塚古墳	〃 〃 〃	校庭	〃	〃 （後）	土師器，須恵器，鉄製品	137

遺跡番号	種別	遺跡名	所在地	地目
01027	散布地	新田北町遺跡	仙台市新田北町	畑
01028	〃	小鶴遺跡	〃　小鶴	〃
01016	横穴	善応寺横穴群	〃　燕沢字西山	山林
01009	古墳	五郎兵衛古墳	〃　小鶴字五郎兵衛	湮滅
01001	散布地	燕沢遺跡	〃　燕沢字台	畑
01010	古墳	千人塚古墳	〃　岩切字山崎西	〃
18012	集落跡	新田遺跡	多賀城市新田	〃
22007	散布地	稲葉崎遺跡	宮城郡利府町在加瀬稲葉崎	〃
22008	〃	台城遺跡	〃　〃　〃　字台城	〃
22009	〃	窪遺跡	〃　〃　〃　字窪	〃
22010	〃	西天神遺跡	〃　〃　菅谷字西天神	〃
22011	祭祀	伊豆佐比売神社	〃　〃　飯土井	神社
22012	古墳	法印塚古墳	〃　〃　菅谷字山苗代	畑
22013	散布地	八幡崎A遺跡	〃　〃　利府字八幡崎	〃
22016	〃	深山遺跡	〃　〃　沢乙深山	〃
22002	館跡	館山館跡	〃　〃　館山	山林，畑
22017	散布地	六田遺跡	〃　〃　菅谷字六田	畑・山林
23035	〃	堂屋場遺跡	黒川郡大和町鶴巣小鶴沢字上の沢	田
23036	館跡	小鶴沢館跡	〃　〃　〃　〃　字田町沢	山林
23037	寺跡	多門寺廃寺	〃　〃　〃　大平字桧木沢	田
23038	前方後円墳	真山古墳	〃　〃　〃　〃　字真山	畑
23039	館跡	泉館跡（越路館）	〃　〃　〃　〃　字郷の目	田
23040	古墳	郷の目古墳	〃　〃　〃　〃　〃	山林
23041	石造物	窟薬師磨崖仏	〃　〃　落合報恩寺字八幡山	〃
23043	館跡	古館跡	〃　〃　〃　〃　字上の山	〃
23044	墓塔	黒川景氏の墓碑塔	〃　〃　〃　〃　〃	〃
23045	古墳	神明古墳	〃　〃　三が内字神明	〃
33008	散布地	多高田遺跡	志田郡三本木町多高田	畑
33016	古墳	大光寺山古墳群	〃　〃　桑折字寺東	山林
33017	包含地	安藤前遺跡	〃　〃　蒜袋字安藤前	田
27006	散布地	師山遺跡	古川市師山字八幡	神社
29026	〃	淵尻遺跡	〃　淵尻字新田	田

地図	時期	出土品	地図番号
仙台	奈良・平安？	土師器片	138
〃	〃　〃　？	〃	139
〃	古墳（後）	土師器・須恵器，玉類，鉄製品	140
〃	〃		141
〃	奈良・平安	布目瓦，土師器	142
〃	古墳		143
〃	〃	土師器，石製模造品	145
〃	奈良・平安	須恵器・土師器片	146
〃	縄文	石鏃	147
〃	奈良・平安	須恵器・土師器片	148
〃	〃　〃	〃　〃	149
〃	？		150
〃	古墳		151
〃	奈良・平安	須恵器	152
〃	縄文	石器	155
仙台吉岡	中世		156
吉岡	縄文	石器，抉状耳飾り	157
〃	？	鉄滓，ふいご（湮滅）	158
〃	中世		159
〃	江戸	陶器片（湮滅）	160
〃	古墳（中）	円筒埴輪	161
〃	安土桃山	（湮滅）	162
〃	古墳（後）		163
〃	中世		164
〃	〃		166
〃	〃		167
〃	古墳（後）		168
古川	縄文	縄文土器	169
〃	古墳（後）		170
〃	中世	宋銭，石製擬宝珠（湮滅）	171
〃	縄文（晩）	縄文土器片，石器	172
〃	古墳（中）	土師器（南小泉式）（湮滅）	174

遺跡番号	種別	遺跡名	所在地	地目
38001	横穴群	上沼木横穴群	遠田郡田尻町沼木字天神西	山林
38043	散布地	天神山遺跡	〃 〃 沼木	畑・山林
38044	横穴群	筒水横穴群	〃 〃 〃 筒水	山林
38046	散布地	宮沼遺跡	〃 〃 諏訪峠字宮沼	畑
27032	〃	一貫寺遺跡	古川市小野字一貫寺	山林
38047	〃	愛宕山遺跡	遠田郡田尻町諏訪峠字諏訪	畑
27039	〃	須賀遺跡	古川市須賀	〃
38005	〃	北小松遺跡	遠田郡田尻町小松字屋敷浦	〃
38004	城柵跡	小松柵跡	〃 〃 〃 字地蔵堂	〃
38003	寺跡	小松寺跡	〃 〃 〃 字寺浦	山林
27002	散布地	花島遺跡	〃 〃 字花島	山林・畑
27001	〃	大窪遺跡	〃 〃 字大窪	〃 〃
38041	城柵跡	新田柵外墨線	栗原郡田尻町～高清水町・瀬峯町	
44005	散布地	仰返地蔵遺跡	〃 高清水町台町仰返り	墓地
44008	〃	外沢田遺跡	〃 〃 外沢田	畑
44017	〃	堂の池遺跡	〃 〃 堂ノ池	田
44018	〃	下佐野遺跡	〃 下佐野	畑
44001	〃	大寺橋遺跡	〃 佐野丁字十二の神	畑・田
44006	寺跡	燕楽寺跡	〃 〃 影の沢	畑・山林
46009	散布地	空堤遺跡	〃 瀬峯町上藤沢寺沢	田
46010	〃	大鰐谷南向遺跡	〃 〃 〃 大鰐谷	畑
46007	館跡	殿上館跡	〃 〃 大鰐谷	山林
46008	経塚	経壇経塚	〃 〃 〃	〃
46011	館跡	古館館跡	〃 〃 上藤沢字山崎	〃
46012	散布地	大鰐谷北向遺跡	〃 〃 大鰐谷北向	田
41029	〃	太田遺跡	〃 築館町太田字西原	山林
41028	〃	照越台遺跡	〃 〃 照越台	畑
41006	〃	玉荻台	〃 〃 〃 新田	山林，畑
41005	貝塚	嘉倉貝塚	〃 〃 玉沢字嘉倉	畑，田
49006	館跡	浦山館跡	〃 志波姫町八樟浦山	山林

地図	時期	出土品	地図番号
古川	古墳（後）	須恵器	175
〃	奈良・平安	須恵器・土師器片	176
〃	古墳（後）		177
〃	奈良・平安	須恵器・土師器片	179
〃	〃 〃	布目瓦	180
〃	〃 〃	須恵器・土師器片	181
〃	縄文（晩），奈良・平安	縄文土器（大洞BC，C）片，土師器片，（殆んど湮滅）	182
涌谷	縄文（晩）	縄文土器（大洞B，C，A），土製品，石器	183
〃	奈良・平安	布目瓦	184
〃	？		185
古川	縄文（晩）	縄文土器（大洞A），石器	186
〃	〃 （中）	〃 （大木5，6，7），石器	187
涌谷	奈良・平安		188
〃	？	布目瓦	190
古川	奈良・平安	〃 （鐙瓦）	192
	〃 〃	土師器・須恵器片	194
涌谷	〃 〃	土師器，須恵器	195
〃	縄文（早），弥生，奈良平安	縄文土器（尖底），石器，弥生土器，土師器	196
〃	奈良・平安	「燕絡寺印」の銅印	199
〃	縄文（前）	縄文土器（大木6）（湮滅）	200
若柳	弥生	石鏃	201
〃	中世		202
〃	〃		203
〃	〃		204
〃		（湮滅）	205
〃	古墳（後）～奈良・平安	土師器，土製紡錘車	206
〃	縄文（晩），奈良・平安	縄文土器，土師器片	208
〃	縄文（晩）	縄文土器（大洞C，A）	209
〃	〃	〃	210
〃	中世		211

遺跡番号	種別	遺跡名	所在地	地目
49003	窯跡	狐塚窯跡	栗原郡志波姫町梅崎北郷狐塚	田
49001	散布地	竹内遺跡	〃 〃 〃 〃 竹の内	畑
49004	〃	荒町遺跡	〃 〃 〃 〃 荒町	田
49002	〃	刈敷治郎遺跡	〃 〃 白幡刈敷治郎	畑
49008	館跡	山王館跡	〃 〃 〃 伊豆野大西前	山林，畑
42017	〃	要の城跡	〃 若柳町有賀字八幡	畑
48015	〃	鳥見城跡	〃 金成町字大久保	山林
42014	〃	蟻が城跡	〃 若柳町有賀字山系	〃
42016	〃	田小屋館跡	〃 〃 〃 字小館	〃
42015	〃	軽臼館跡	〃 〃 〃 字峯	〃
42013	散布地	倉沢遺跡	〃 〃 〃 三田通り字倉沢	畑
48008	建物跡	釈迦堂跡	〃 金成町字畑三沢	山林
48016	散布地	柳沢遺跡	〃 〃 末野字柳沢	田

地図	時期	出土品	地図番号
若柳	奈良・平安	須恵器	213
〃	縄文	石鏃	215
〃	奈良・平安	須恵器	216
〃	縄文（晩），奈良・平安	縄文（晩器）土器，須恵器片	217
〃	奈良・平安	須恵器	218
〃	中世？		219
〃	中世		220
〃	〃		221
〃	〃		222
〃	〃		223
〃	縄文	石器	224
〃	？		225
一関	縄文	縄文土器片，石器	226

試　掘　調　査　概　報

東北新幹線試掘調査概報

1　調査対象遺跡

白石地区

地蔵院館跡　松野善蔵所有地

田中遺跡　　島津　盛所有地　　小野定雄所有地

谷津川遺跡　佐藤忠治所有地

高清水地区

堂の池遺跡　郷内定雄所有地

下佐野遺跡　亀川田金男所有地　千坂　親所有地

下折木遺跡　岡崎忠夫所有地

築館地区

玉荻台遺跡　佐竹辰雄所有地

2　調査期間　自　昭和47年2月22日　　至　3月8日

3　調査主体者　宮城県教育委員会

4　調査担当者　宮城県教育庁文化財保護室調査係職員

5　調査補助員　地元郷土史家　　中橋彰吾　佐藤信行

宮城教育大学生　土岐山武　遊佐五郎　佐藤好一　千葉宗久　太田昭夫

福島大学学生　　芳賀寿幸

東北学院大学生　高倉敏明　結城慎一　菅原　了

6　調査指導者　宮城県遺跡調査指導委員　　伊東信雄　芹沢長介　興野義一　片倉信光

白石地区(昭和47年2月28日～3月8日)

田中遺跡，谷津川遺跡（地図番号30，29）

１ 田中遺跡

斎川の沖積平野上に立地する遺跡である。白石の市街地より南へ約1.5キロ，田中部落に通じる田中橋の東側地域一帯の畑に，土師器，須恵器破片の分布をみる。

試掘調査は，小野定雄氏所有畑と島津盛氏所有畑とを対象にして，計2本のトレンチを設定した。小野定雄氏所有畑には，新幹線のセンターぐい283.640キロ地点に，センターラインと

平行して幅3メートル，長さ20メートルのトレンチを，島津盛氏所有畑には，283.700地点に幅3メートル，長さ15メートルのトレンチをそれぞれ設けて発掘を実施した。

Aトレンチでは，表土(第Ⅰ)層につづいて褐色土(第Ⅱ)層，砂質褐色土(第Ⅲ)層，粘土質暗褐色土(第Ⅳ)層が位置する。さらにその下(地表下1.14メートル)に，木炭混りの砂質黒褐色土層が接続するが，湧水はなはだしく，本調査を期待することにして発掘を断念した。

遺物は，奈良，平安期の土師，須恵片が表土に散布していたほかに，第Ⅱ層，第Ⅳ層，並びに第Ⅴ層上面から，それぞれ数点の土師器破片が，第Ⅳ層より鉄片1点が出土したにすぎない。しかし，小野定雄所有畑でかって探掘りした際に，引田式の小形丸底壷が1点出土した(小野定雄氏蔵)由であるし，また昭和15，6年頃の斎川河川改修工事の際の堆積土状況を記した，片倉信光氏のメモによると，地山面まで地表から3メートルもあった模様であるから，第Ⅴ層以下の深部には，遺構，遺物の存在は充分に予想されるであろう。

Bトレンチでは，表土(第Ⅰ)層につづいて木炭粒子を含む褐色土(第Ⅱ)層，赤褐色土(第Ⅲ)層，茶褐色土(第Ⅳ)層，灰褐色土(第Ⅴ)層，赤灰褐色土(第Ⅵ)層，さらに地表下1.6メートルで青粘土地山(第Ⅶ)層となる。

出土遺物は表土より土師器片を数点収拾しえた程度で，遺構らしきものもまったく認めえなった。

2　谷津川遺跡

新幹線センターラインぐい284.140～284.160キロ地点附近の，佐藤忠治氏所有畑に幅2メートル，長さ12メートルのAトレンチ，これより6.5メートル離れて幅2メートル，長さ10メートルのBトレンチを設定し発掘を実施した。

Aトレンチでは，表土(第Ⅰ)層につづいて黄褐色土(第Ⅱ)層，粘土質の黒褐色土地山(第Ⅲ)層が接続し，地表より地山までの深さ40～50センチ程度を測る。遺物は土師器片が第Ⅱ層より2，3点出土したのみであった。

Bトレンチでは，Aトレンチと同様な層序を示し，表土より深さ30～40センチで地山に達した。出土遺物はやはり，第Ⅱ層より数点出土したにすぎない。

遺構らしきものは，この2本のトレンチ内ではまったく認めえなかった。

3　まとめ

この田中遺跡と谷津川遺跡のみではなく，この附近一帯の畑には，土師器，須恵器の破片がかなり濃密に分布しているのであるが，今回の試掘調査に関する限り，まったく遺構を検出しえなかった。これは，畑の作物栽培にともなって遺構が破壊されたものか，トレンチ掘りであったために遺構のある位置からはずれた地点を発掘した結果であったのか，その何れかであろう。とくに田中遺跡では，かつてかなりの深さから引田式の丸底土師壷が出土した由でもあるから，下層部分にも古墳時代遺構の存在が推定できるであろう。本調査では，全面掘りの調査

を実施すべきである(佐々木安彦)。

高清水地区(昭和47年2月28日～3月3日)

高清水町では，遺物の採集された4ヶ所で試掘調査を実施した。立地状況は，岩出山方面より瀬峰，南方方面へ，東走する丘陵から東南方向へ，小さく分岐する，二つの小丘陵上に位置する。この小丘陵上には，縄文早期の「大寺式土器」を出土した大寺遺跡をはじめ，土師・須恵などの散布地がかなり存在している。地山は，若干シルト質の黄色ローム層である。

堂の池遺跡（地図番号194）

今回，試掘調査の行われた4ヶ所のうちで，最も南に位置する地点である。

新幹線センターぐい372.780キロ附近で郷内定雄氏所有地内に，センターラインに沿ってその東側に，南北方向に長く幅3メートル，長さ33メートルのトレンチを設定した。地目は，現在，タバコ畑となっているが，これは，一旦，開田された後のもので，すでに，かなりの削平がなされていることが考えられた。調査の結果，予想通り，削平が著しく，表土から，地山のややシルト質の黄色ロームまでの深さは20～35センチで，往時の地層は数センチ前後の黒土が部分的に認められる程度であった。出土遺物も，表土から，土師，須恵の破片が，各々数点出土した程度である。なお，トレンチ南端近くで，東西に走る溝を検出した。これは，検出面での幅1.9メートル，底面での幅50センチ，深さ70センチで，ローム面で検出されたものであるが，埋土が，表土と類似し，後世のものであることが考えられる。遺物の出土は見られなかった。

下佐野遺跡B地点（地図番号195）

堂の池遺跡の北方でセンターぐい372.94キロ付近，亀川田金男氏所有畑である。周辺は開田工事が進んでいる。新幹線中心杭に沿って，西側に，南北方向に長く，幅3メートル，長さ12メートルのトレンチを設定した。調査の結果，遺構と考えられるものは，何も検出されなかった。遺物は，土師器，須恵器破片が各々，数点検出されただけである。層位は，周辺の開田工事の際，積みあげられた盛土があって，表土が厚く，地山のややシルト質の黄色ローム面まで，約70センチの厚さがあった。40センチの盛土，10数センチの旧表土の下に，20センチ前後の黒土層が認められ，この層の上部から2・3点の土師器片が若干検出された。なお開田からもれた東側の畑地には，土師器，須恵器破片が，豊富に分布していて，集落の存在が予想されるが，新幹線路線敷のなかには遺構はかかっていないようである。本遺跡の東方500メートル附近に，大寺遺跡があり，同一丘陵上に位置する。

下佐野遺跡A地点（地図番号195）

下佐野B遺跡の北方，約100メートルほど離れ新幹線センターぐい373.060キロ附近，千坂親氏所有畑で，県道瀬峰線をはさんで，下佐野遺跡B地点と相対する。

新幹線中心ぐいに沿って東側に，南北に長く幅3メートル，長さ12メートルのトレンチを設定

した。調査の結果，表土下20～30センチで，地山の，ややシルト質の黄色ロームに達した。その間，耕作がゆきとどいているため，往時の地層は見られなかったし，遺構も認めえなかった。遺物は，土師器破片が2・3点出土したのみであった。

下折木遺跡（地図番号197）

下佐野A遺跡の北方，約300メートル離れ，新幹線センターぐい373.240キロ附近，岡崎忠夫氏所有の空畑である。立地としては，上記三遺跡の位置する丘陵とは，別の小丘陵の南側傾斜面に位置する。傾斜面は20度前後である。この丘陵の頂部周辺が，新庄館跡となっている。

新幹線中心杭を基軸にまず西側に幅2メートル，長さ30メートルのAトレンチと，東側に幅1メートル，長さ12メートルのBトレンチとを，各々，南北方向に2本設定した。調査の結果，基本層位は，表土20センチ，つづいて第Ⅱ層の黒色土20センチの下で，暗褐色砂質ロームの地山層(Ⅲ層)に達した。Ⅲ層上面で，南北80センチ，東西90センチの炉様焼土帯1ヶ所と，傾斜下半部で性格不明のピット6個，及び，溝状遺構1つを検出した。遺物は，Ⅱ層の黒色土中より，比較的多数，出土した。奈良，平安期の土師器坏・甕，須恵器甕・坏などが含まれる。とくに，焼土帯，溝状遺構周辺からは，多数出土した。よってトレンチ拡大をやめ，本調査での精査にまつこととし，埋め戻しを行ない試掘調査を完了した(岩淵康治)。

築館地区（昭和47年2月22日～25日）

玉萩台遺跡

1　遺跡の立地

伊豆沼周辺には海抜10メートルに満たない低地が広がっている。これらの低地をかこむようにして海抜20～50メートル程度の台地が背後の丘陵地帯から舌状に突き出ている。

玉萩台遺跡はこれらのなかで西から東北に延びる玉萩台地区に形成されている。台地状には縄文時代中期の土器片がかなり散布しているが，台地東側斜面から低地に至る部分には，縄文時代晩期後半の土器片が認められる。東北新幹線の路線はちょうどこの台地東側面から低地に移行する部分にあたっている(センターぐい381.2～381.3キロ)。

2　調査の経過

試掘調査にあたっては，路線敷を中心として地形，遺物の散布状況を検討しながら，次のようなトレンチを設定した。攪乱等をあまり受けていないと思われる佐竹辰雄氏宅前面の畑地に，路線中心線に直交する形で2×12メートルと2×5メートルのトレンチを2本設定した(A・Bトレンチする)。この2本のトレンチは遺物包含層の有無，遺構存在の可能性を検討するものである。この北側に土取り工事によって平坦に削平されたというかなり広い麦畑がある。この部分についてはどの地点でどの程度の撹乱を受けているのかを調べることを目的として，路線の中心線に直交させて2×20メートル，2×30メートル，2×10メートルの合計3本のトレンチ

を設定した(C･D･Eトレンチとする)。従って延べ発掘調査面積は154平方メートルである。

なお，路線の中心線に直交させた各トレンチは台地東側の傾斜方向ともほぼ一致する。

3　調査の結果

Aトレンチでは，約40センチの表土を剥離するとその下に数枚の粘り質のある黒っぽい土層が80～120センチの深さまで続く。さらにその下は黄褐色を呈する固い砂質土層となる。遺物は少ない。僅かに表土を中心として数点の縄文晩期土器片が認められただけである。

Bトレンチでは，Aトレンチとほぼ同様で，深さ約2メートルに至ると黒灰色の砂層となる。堆積層中には風化した小礫を含んでいるものもある。トレンチ東側では旧水路の掘り込みが明瞭にとらえられた。遺物も表土を中心として細片が少量険出されただけである。

C～Eトレンチでは，いずれも表土の下に砂とシルトの混合層があり，その下に灰白色の砂層が続いている。これらのなかで攪乱を受けてないと考えられるのは最下層の砂層のみであるが，この層は台地の基盤層と一致するものである。したがって，この地区は遺物包含層があったとしても，すべて削られてしまったものと考えられる。遺物も縄文晩期土器片が1点出土したのみである。

4　路線にかかる遺跡の性格

以上述べた調査結果から新幹線の路線敷にかかる部分の玉荻台遺跡(遺跡全体からすれば1部)について次のような評価が妥当であろう。

(1)　北側の部分に関しては削平(ブルドーザーによる土砂取り工事とのことである――地主談)のため一切の遺物包含層，遺構は破壊されてしまっている。

(2)　南側の佐竹辰雄氏宅前面の畑地は堆積層が，かなり厚い。しかし，出土遺物がいずれも細片で量も少なく層位的に一定しないことから1次的に廃棄された遺物とは考えられない。さらに，この部分の地形を観察すると，ちょうど玉荻台地東端の小さな谷部末端に位置していることが判明した。したがって，この部分の堆積層が非常に厚いのは斜面から流れてくる土砂の堆積の結果と考えられることから，これらの層中に含まれる遺物もその時に運ばれたものと推定される。

5　まとめ

路線敷にかかる部分の玉荻台遺跡は1次的な遺物包含層，遺構等の存在する可能性は少ない。理由はすでに記した通りである(丹羽　茂)。

宮城県遺跡調査指導委員会委員名簿

東北大学名誉教授 宮城県文化財専門委員	伊東信雄	(考古)	日本考古学協会員
東北大学名誉教授 宮城県文化財専門委員	小倉強	(建築)	
東北大学工学部教授 宮城県文化財専門委員	佐藤巧	(建築)	
東北大学文学部教授	芹沢長介	(考古)	日本考古学協会員
東北大学教養部教授	高橋富雄	(歴史)	
東北学院大学文学部教授	加藤孝	(考古)	日本考古学協会員
東北大学工学部講師	坂田泉	(建築)	
宮城県塩釜女子高校教諭	後藤勝彦	(考古)	日本考古学協会員
興野医院院長	興野義一	(考古)	日本考古学協会員
白石市文化財保護委員	片倉信光	(郷土史)	

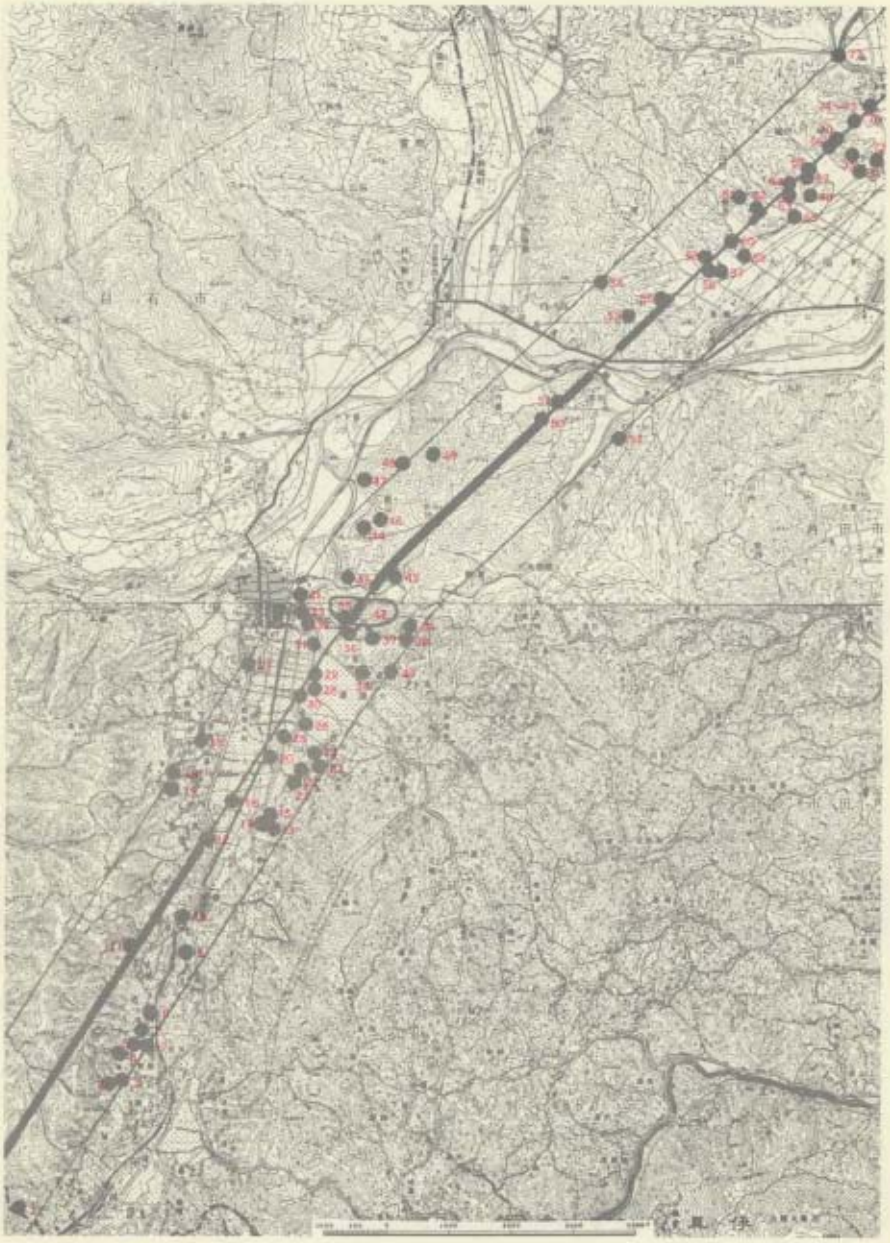
宮城県教育庁文化財保護室調査係職員名簿

調査係係長	志間泰治	嘱託	小井川和夫
技術主査	氏家和典	嘱託	佐藤庄一
技師	藤沼邦彦	嘱託	加藤道男
技師	白鳥良一	嘱託	丹波茂
嘱託	佐々木安彦	補助員	橋本幸子
嘱託	岩淵康治	補助員	七戸貞子

遺　跡　分　布　地　図

図版第1

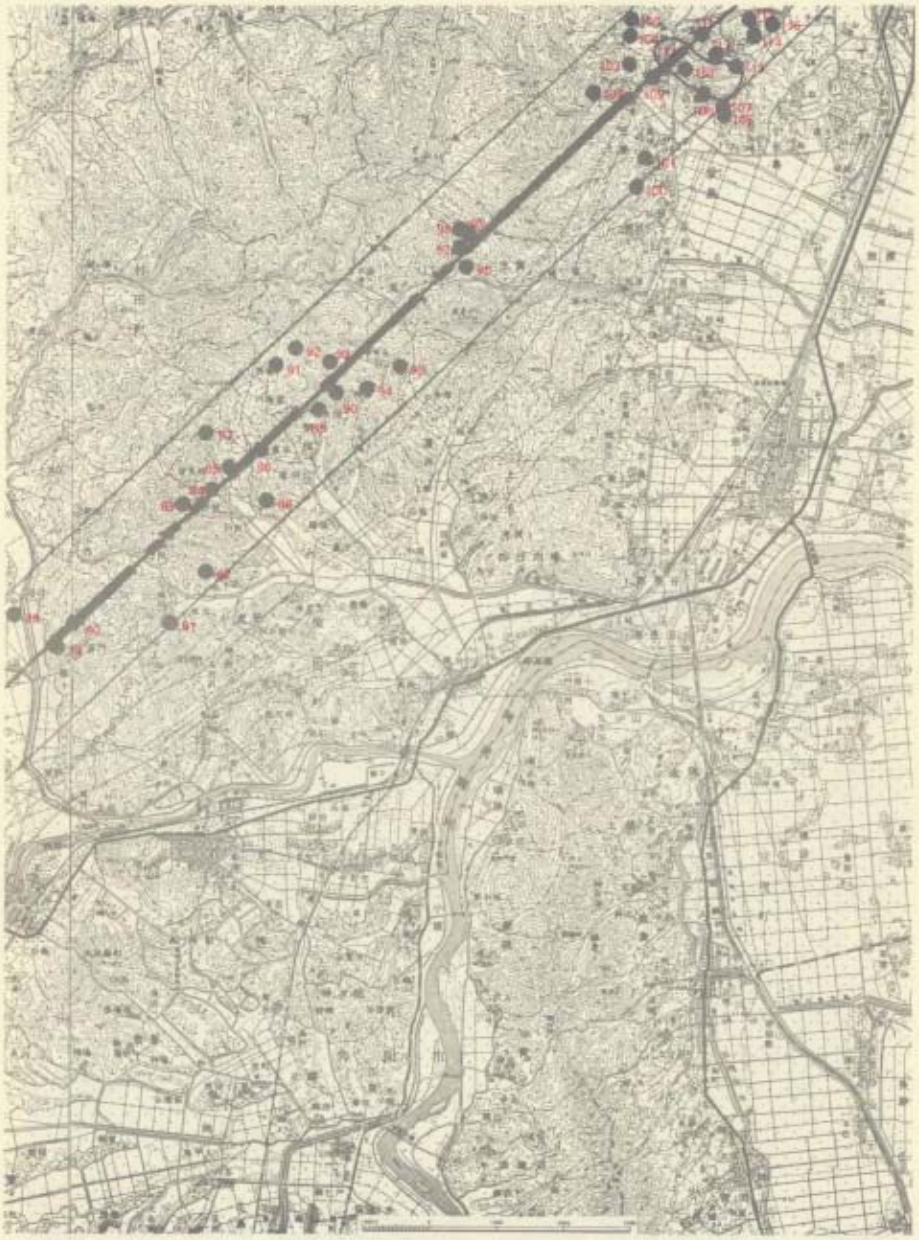
新幹線関係遺跡分布図 その1



註　太線はトンネル

図版第２

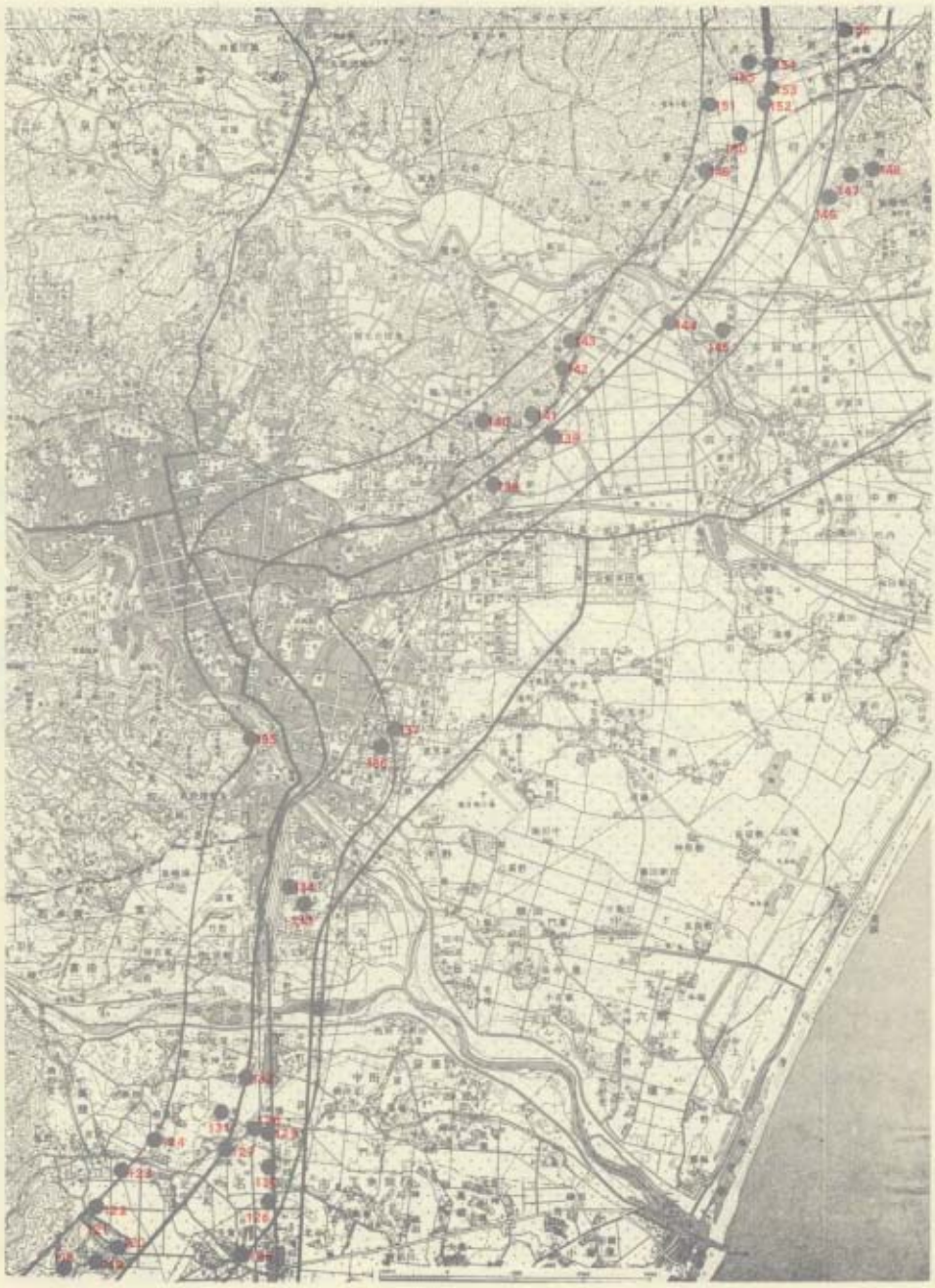
新幹線関係遺跡分布図 その２



註　太線はトンネル

図版第3

新幹線関係遺跡分布図 その3



註　太線はトンネル

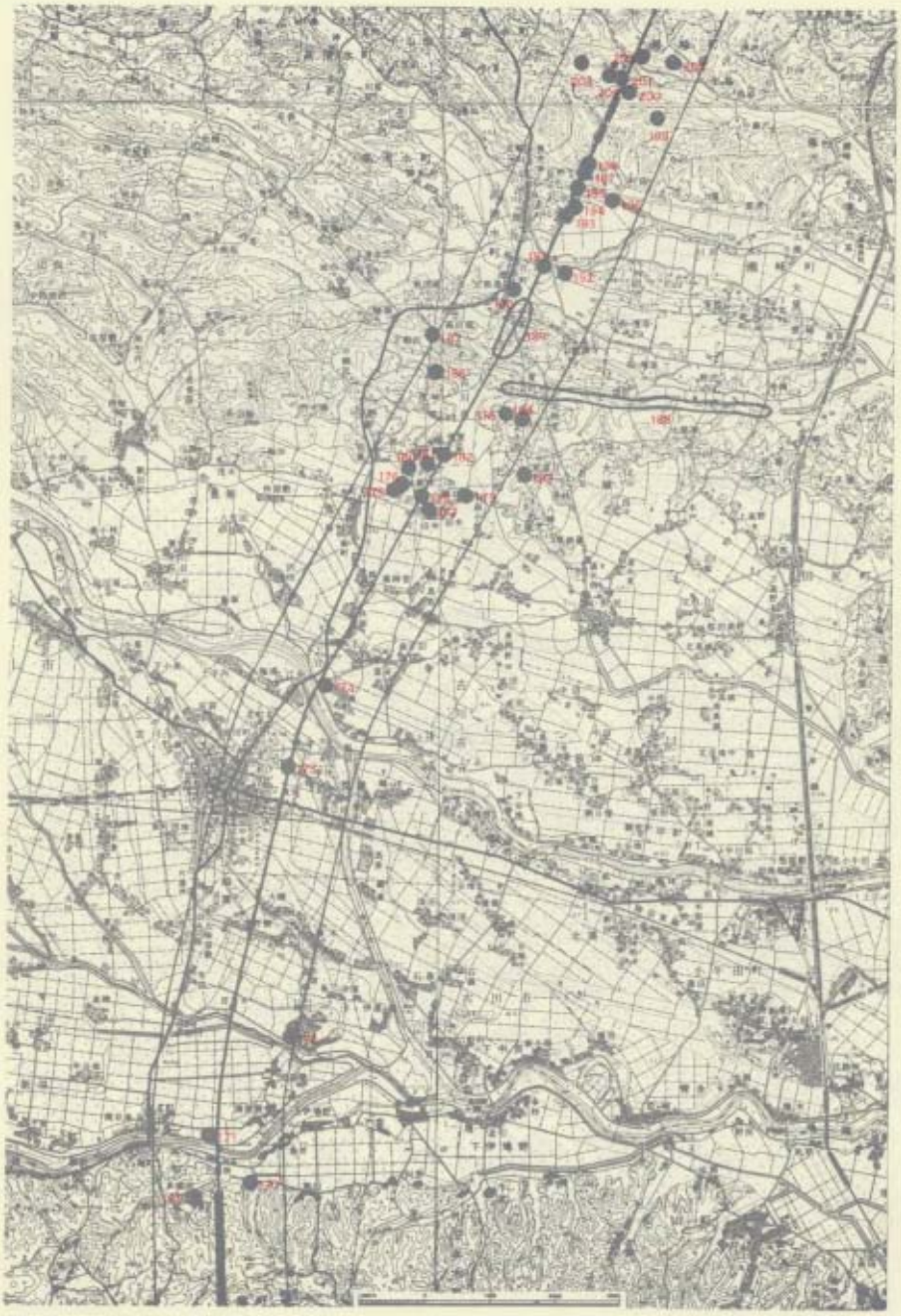
図版第4

新幹線関係遺跡分布図 その4

註 太線はトンネル

図版第5

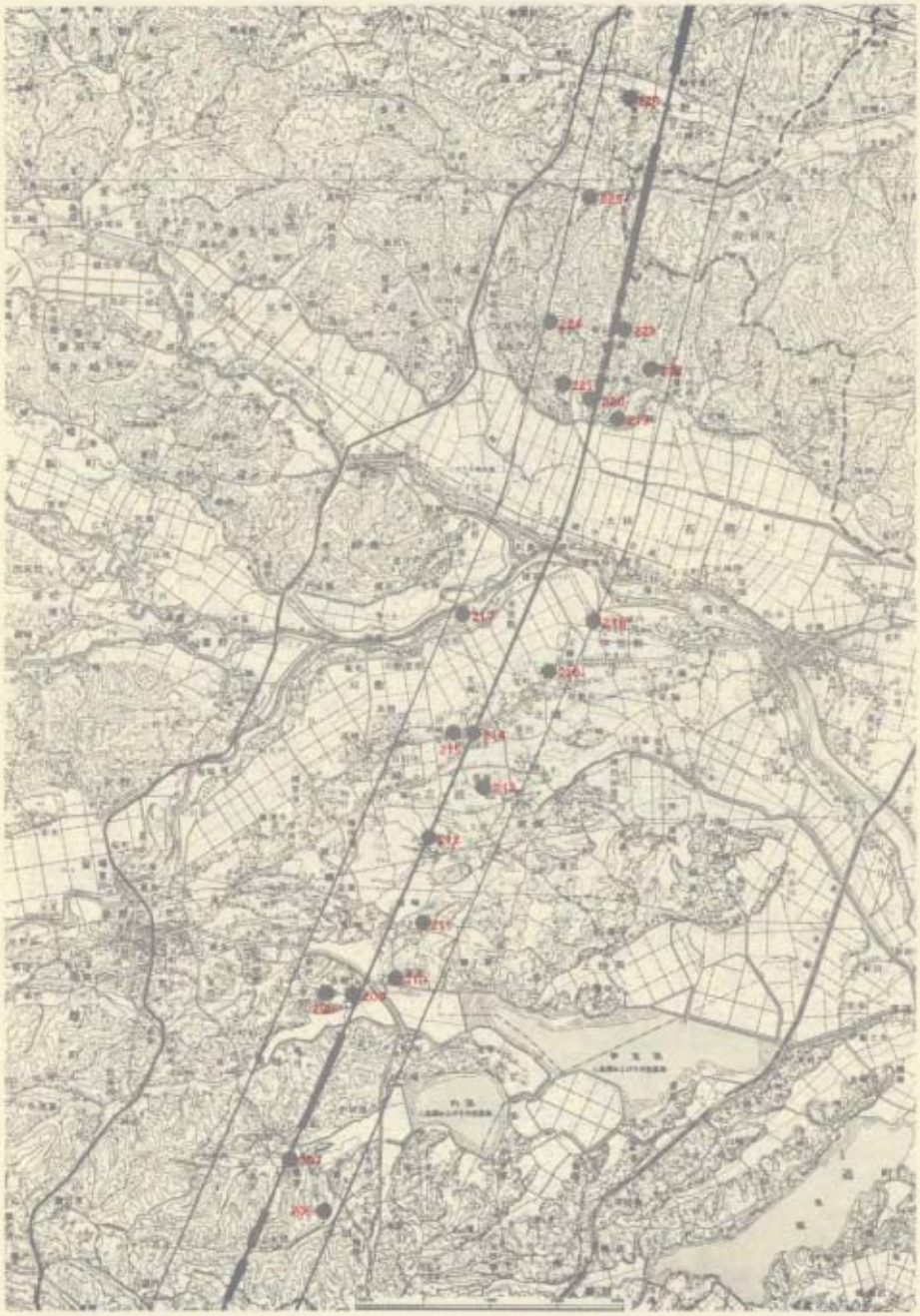
新幹線関係遺跡分布図 その5



註　太線はトンネル

図版第 6

新幹線関係遺跡分布図 その6



註　太線はトンネル